

藤沢市 令和3年度事務事業評価シート(令和2年度分)

No. 1

事務事業名	都市親善費										担当課	部課名	企画政策部人権男女共同平和課			
												新部課名	企画政策部人権男女共同平和国際課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	細目	010	説明	01	課等の長	横田 祥子	電話	2133

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 34 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	姉妹友好都市を中心とした海外諸都市等との友好関係を深めるとともに、市民の国際理解推進を図るため、都市親善交流を行う。 ①姉妹友好都市等との親善事業 ②聶耳記念碑に関する事業						
事業目的及び必要性	市民、関係団体、企業、大学などと連携・協働し、姉妹友好都市をはじめとする海外諸都市等との親善交流や産業・経済・スポーツなど様々な分野での目的別国際交流を推進する。 当該事業は、都市間の国際親善交流はもとより、市民や関係団体等民間レベルでの交流を深めていくうえで必要な事業である。						
対象	1. 個人	市民				435,121	人
根拠法令等							
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 藤沢市都市親善委員会)						
	(委託等内容: 姉妹友好都市等との親善交流に関する業務)						
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金: 聶耳記念碑保存会)						
<input type="checkbox"/> その他 ()							
藤沢市市政運営の総合指針2020							
重点施策名				指針体系コード		その他の計画との関連	
市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援				2-1-41			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
市民が自慢できるまちであること			3.4 点	3.5 点	3.4 点	3.5 点	
			点	点	点	点	

令和2年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	委託料	1,237 千円	藤沢市都市親善委員会委託料
	負担金補助及び交付金	60 千円	聶耳記念碑保存会補助金
	旅費	2 千円	費用弁償、普通旅費
1,803 千円	その他	504 千円	需用費
【参考】 令和3年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容
	報償費	200 千円	報償費
	委託料	11,254 千円	藤沢市都市親善委員会委託料、ふじさわ国際交流フェスティバル実行委員会委託料
	負担金補助及び交付金	250 千円	聶耳記念碑保存会補助金
	13,937 千円	旅費	1,950 千円
	その他	283 千円	需用費、役務費

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
常時勤務職員※	2.40	2.40	2.40	2.20 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00	0.00	0.00	0.00 人工
非常勤職員	0.00	0.00	1.94	
合計	2.40 人工	2.40 人工	4.34 人工	2.20 人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)				5.50 人
---------------	--	--	--	--------

3. 事業実施内容・成果

令和2年度 事業実施 内容	①都市親善事業 ・ウインザー市との青少年絵画交流事業 ウインザー市ヴァーチャル児童絵画交流展への出展(9月29日からオンラインでの開催) ・藤沢市市制施行80周年記念事業 姉妹友好都市オンライン児童絵画交流展の開催(1月15日からオンラインでの開催) ②聶耳記念碑に関する事業 ・聶耳記念碑への代表者による献花(7月17日)							
	成果目標	指標名	単位	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	備考
		事業参加人数	人	10,500	5,000	5,000	10,500	
		ホームステイ・ビジット登録家庭	世帯	41	41	41	41	
聶耳記念碑参拝者数	人	270	270	270	270			
参考								
活動実績	指標名	単位	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	備考	
	交流事業数	件	20	17	8	2		
	ホームステイ・ビジット制度の紹介	人	2	2	1	0		
	都市親善委員会の開催	回	2	2	3	3		
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考	
	事業参加人数	人	691	4,988	4,426	1,022		
	ホームステイ・ビジット登録家庭	世帯	18	22	34	34		
	聶耳記念碑参拝者数	人	150	209	89	6		
数値で表せない効果 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの交流事業が中止となったが、ICTを活用した姉妹友好都市等との事業を実施したことにより、今後の交流事業に繋げた。								

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A	42,019	42,348	36,846	34,087	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	42,878	42,526	36,744	34,618	
	事業費(支出済額)	19,678	19,399	4,641	1,803	
	償還金利息	0	0	0	0	
	人件費合計(①+②+③)	23,200	23,127	32,103	32,815	
	①常時勤務職員等の給与等	22,126	22,001	21,938	19,122	
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	8,779	12,503	
	③退職金相当額	1,074	1,126	1,386	1,190	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-859	-178	102	-531	
	①減価償却費	81	81	81	81	
	②退職給与引当金繰入額	-940	-259	21	-612	
	③不納欠損額	0	0	0	0	
	④その他()	0	0	0	0	
	行政収益(事業収入) B	19,678	19,399	13,420	1,803	
	(3)現金を伴う収入 (千円)	19,678	19,399	13,420	1,803	
	①分担金及び負担金 c	0	0	0	0	
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0		
③国庫支出金	0	0	0	0		
④県支出金	0	0	0	0		
⑤その他(繰入金)	19,678	19,399	13,420	1,803		
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0		
収入未済増減額	0	0	0	0		
収支差額(純費用)A-B E	22,341	22,949	23,426	32,284		
分析指標	項目	事業参加人数 F	691	4,988	4,426	1,022
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		60,808.97	8,489.98	8,324.90	33,353.23
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		52.26 427,501	53.45 429,317	54.09 433,060	74.20 435,121
	受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.00

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	社会情勢等の要因及び新型コロナウイルス感染症の影響により、姉妹友好都市等との交流事業が一部実施できなかった。また、聶耳記念碑参拝者数についても減少の原因となった。
(2) (1)解決のための令和2年度の取組	一部実施ができなかった事業について、交流が途絶えてしまうことのないよう姉妹友好都市等との連絡を引き続き密に行い、今後の事業実施に繋げる。
(3) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、人と人との直接的な交流が制限されたことから、姉妹友好都市等との交流事業が実施できなかった。また、聶耳記念碑参拝者数についても減少の原因となった。
(4) (3)解決のための今後の取組	姉妹友好都市等との交流が途絶えてしまうことのないよう、姉妹友好都市等との連絡を引き続き密に行い、今後、ICTの活用を含めた事業実施を検討し、新たな交流事業に繋げる。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	
	<input type="radio"/>	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	
	<input type="radio"/>	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの
	③ 事業期間	
	<input type="radio"/>	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの
	④ 事業費…令和2年度支出済額	
	<input type="radio"/>	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
	⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	
	<input type="radio"/>	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
(2) 財政的な特徴	⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	
	<input type="radio"/>	ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
2. 市民等サービス(その他)	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	令和2年度においては、新型コロナウイルスの世界的流行により、海外からの入国制限が課される等、現在も感染の終息が見通せない状況下であり、経済活動をはじめ、人々の働き方や暮らし等も変化を余儀なくされている。今後も引き続き、国内外の情勢を注視し、ウィズコロナ・アフターコロナにおける生活・観光・政治・教育などの在り方を捉えて、柔軟な対応・判断をする必要がある。	
他市等の事例	神奈川県内では、本市を含む16市4町が50件の姉妹友好都市提携を行っている。近年では、こうした姉妹友好都市提携にとどまらず、それぞれの都市の目的にあった多様な形態での都市間連携・協力が行われている。	
市民ニーズ	把握方法	「藤沢市都市親善委員会」(市内団体等代表など20人) 年2～3回開催
	把握内容	都市親善事業の実施について、関係団体との連携の強化等をした方がよい。
	対応等	都市親善事業の実施に向けて、関係団体との連携を密に行う。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、人と人との直接的な交流が制限されたことから、姉妹友好都市等との多くの交流事業が実施できなかったものの、ウインザー市との青少年絵画交流事業においては、ウインザー市主催によるオンラインでの絵画交流展が開催され、関係団体等と連携・協力し、藤沢市民の子どもが描いた絵画を出展することができた。 また、市制施行80周年記念事業として、藤沢市が提携するすべての姉妹友好都市と「姉妹友好都市オンライン児童絵画交流展」をオンラインで開催し、各姉妹友好都市の市長からのメッセージをはじめ、各姉妹友好都市の代表的な写真を紹介し、総数126点の絵画を通じて、友好を深めるとともに、相互の国際理解を推進することができた。	
今後の方針	まちづくりテーマ	② 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する
	事業の方向性	現状維持
	姉妹友好都市等との親善活動を通じ、教育・文化・産業・スポーツなどの交流を図り、市民相互の友好を推進していく。ICTを活用した交流事業を検討し、文化交流、市民交流等を通じて都市親善の推進を図る。	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
29	姉妹友好都市交流に関すること	無	無	1	3
30	藤沢市都市親善委員会事務局に関すること	無	無	1	3
31	その他外事に関すること	無	無	1	3
32	団体予算の支出・収入に関すること	無	無	3	3
33	会計年度任用職員に関すること	無	無	1	
34	藤沢市グローバルビジョン推進に向けた取り組み	無	無		
35	各種団体との連携に関すること	無	無	1	3
36	国際交流フェスティバルに関すること	無	無	3	3
37	団体予算の支出・収入に関すること	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	企画政策部	氏名	宮原 伸一	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------